

子どもが使う

時間 10分

費用 20円

中級

2年

長さメーカー



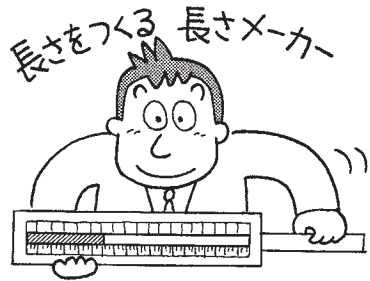
決まった長さの線を引けない子が、ものさしの読み方が分かっていないとは限りません。読み方は分かっているけれど、真っ直ぐな線を引けないだけかもしれないのです。子どもの苦手なところを見抜き、指導に活かせる教具です。

【実践例】 cmでの長さ作り → mmまでの長さ作り → いろいろな長さ作り

ステップ 1 cmでの長さ作り



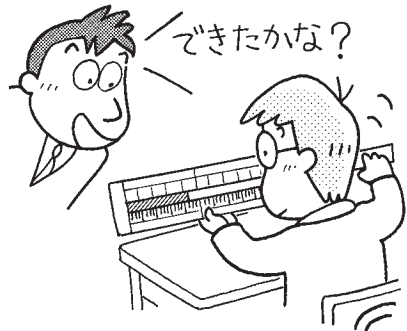
〈長さメーカー〉は、自由に長さが作れる道具です。大きい方の目盛りは1 cm、小さい方の目盛りは1 mmです。1 cmの目盛りを上にして持ちます。



◆この段階ではmmの目盛りがない長さメーカーを使うこともできます。



右手で棒を持って引っ張ると、左から色のついたところが出てきます。では左から5 cm出してみましよう。



◆机間巡視して苦手な子を把握しておきます。

◆1問終わるごとにスライド棒を元に戻すよう指示をします。



棒を元に戻して。では、今度は、左から7 cm出します。できているかどうか、隣の子と比べてみましょう。



◆一度目の机間巡視で把握した苦手な子を中心に見て回ります。それ以外の子は、子ども同士で見合うようにすると、教え合いができます。

◆最初は教師が長さを指定して何度か